

## 患者様情報

## 来院されるまでの症状

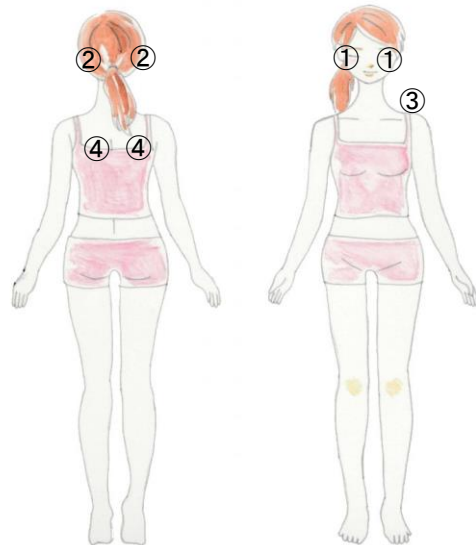
- ・数日前より左下の歯にうずくような激痛が走るようになったとのことでした。
- ・左顎の下部が酷く腫れたまま来院なさいました。
- ・痛みで、ものが食べられず睡眠もとれずで、衰弱状態でした。
- ・原因に心あたりはなく、ただ、最近はいろいろと忙しかったとのことでした。

|         |        |     |
|---------|--------|-----|
| 患 者 様   | 40 代   | 女性  |
| 初 診     | 2013 年 | 2 月 |
| 既 往 症   | 顎関節症   |     |
| 他 の 症 状 | 頭痛、肩こり |     |

## 四診と経過

## ■ 診療（診断と施術）

- ・左頬から顎にかけての腫れが酷く、首筋から肩にかけてもパンパンに張っている状態でした。
- ・食べ物をうまく咀嚼できないのと痛みのストレスによって、胃にも大きな負担がかかっているようで、胃の裏側の背中が硬くなっていました。
- ・はじめに、全身の強張りや胃の不調を改善するために全身に施術し、その後、左頬から顎にかけての局部に刺鍼と施灸を行ない、リンパの滞りの解消を促しました。



## ■ 初診後の経過

- ・1回目の施術の後、少し楽になったとのことでした。
- ・その後、毎週続けて3回の施術によって痛みと腫れが解消し、すべての治療を完了しました。

## 使用した主要なツボ

- ①下関(ゲカン) ②翳風(エイフウ)  
③肩井(ケンセイ) ④膏肓(コウコウ)

## ■ ひとこと添えさせていただきます

- ・歯ぎしりをする癖をお持ちでした。それが原因で首肩の凝りが酷く、歯根や歯茎にも負担がかかっていました。
- ・そういった状況におかれていた歯根や歯茎に過度の疲れやストレスが加わったことで、炎症を引き起こしたと思われます。
- ・歯ぎしりをされる方は多いですが、その影響は歯だけではなく、身体のような場所へも及びます。
- ・耳鳴りなども歯ぎしりが原因の場合があります。
- ・睡眠時だけでなく、日中でも無意識のうちに歯をくいしばり、顎関節に大きな負担がかかっていることがあります。
- ・身体の不調はご自身の“気づかぬ癖の蓄積”とも言えます。だれにでも癖はあります。癖を直すことも重要ですが、定期的に“からだ点検”をし、微調整をすることも手軽で現実的な治療法といえるかと思います。